

 市議会だより

うんなん

うん

なん

No.81 2026.4



3月定例会

大東町の巢塔

井上誠さん 提供

(兵庫県立コウノトリの郷公園
コウノトリ野生復帰事業特別協力員)

当初予算

(対前年度 11億6,000万円増)

● 地方公共団体情報システム標準化推進事業

3億5,347万円

(市の基幹業務標準化システム移行経費等)



住民記録システムサーバー

● 木次中学校建設事業

5,300万円

(地質調査、設計業務委託)



地質調査予定の木次中学校グラウンド

令和8年3月定例会を3月2日から3月23日までの22日間の会期で行いました。条例その他32件、予算13件、諮問2件、報告1件が上程され、慎重に審議した結果、原案通り可決しました。その他、議員発議2件を原案通り可決しました。また、令和8年第1回臨時会を1月28日に開催し、承認2件、予算1件が上程され、審議した結果、原案通り承認・可決しました。

石原 忍	廣野 祐二	渡辺 重光	高橋美佐子	多賀 法華	安田 栄太	梶谷 佳平	上代 和美	中林 孝	中村 辰真	矢壁 正弘	佐藤 隆司	原 祐一
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

令和8年度

一般会計 322億8,000万円

● 食料品物価高騰対策商品券事業 **2億8,720万円**



● 幡屋交流センター整備事業 **1億6,056万円**

(本体建設の工事費等)



幡屋交流センターのイメージ図

令和8年3月定例会採決結果 (議案及び認定、諮問で賛否の分かれたもの) 議長は採決に加わりません [○]・・・賛成 [●]・・・反対 [※]・・・欠席

議案名	採決結果	竹部 貴博	原 良太	吾郷 希穂	福間 守
令和8年度雲南市一般会計予算	可決	○	○	○	○
令和8年度雲南市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○
令和8年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○

令和8年度主な当初予算（一般会計）主要事業

(単位：千円)

事業名等	内 容	予算額	備考
共助インフラ補完創出事業	安心して暮らし続けられる地域の環境を整えるため、住民同士で関わり合いができる体制を構築し、地域自主組織等と重層的に連携する共助のインフラづくりを推進。	40,535	
えすこなお金の流れづくり事業	市民のチャレンジや共助を支える寄付や社会的投資など応援性資金が循環するモデルの創出。	7,500	新規
空き家活用促進支援事業補助金	士業家や金融機関等で作られた専門家ネットワークとの連携や空き家活用をサポートする活動の支援。	2,850	新規
消防施設整備事業	西日登分団機庫建設の解体設計、建物設計等。	1,000	新規
消防機器整備事業	消防車両（ポンプ車、積載車）、防火服の購入費及び機械器具修繕費。	47,536	
森林環境整備基金積立金	森林環境整備のための基金造成。	10,050	新規
ケアポートよしだ改修事業補助金	よしだ福祉会が実施するケアポートよしだ大規模改修工事（居住棟内部改修等）にかかる補助金。	8,497	新規
高齢者福祉施設電力等物価高騰対策支援事業	介護福祉サービス事業所を対象に、島根県で行われる物価高騰支援事業の半額を支給。	5,096	
障がい者福祉施設電力等物価高騰対策支援事業	障がい福祉サービス事業所を対象に、島根県で行われる物価高騰支援事業の半額を支給。	2,744	
医療機関等電力等価格高騰対策支援事業	物価高騰の影響を受けている市内医療機関等の経済的負担を軽減し、安定的な医療サービスの提供が継続できるよう、島根県で行われる物価高騰支援事業の半額を支給。	17,601	
子育て世帯訪問支援事業	様々な困難を抱える子育て世帯（妊婦も含む）にヘルパーを派遣し、家事、育児の支援を行うことで困難を減らし、自立あるいは他のサービスへの利用を促進。	882	新規
有機農業チャレンジ支援事業費補助金	有機農業へ転換するため試行的に行う取り組みに関する経費の1/2を補助。	900	新規
地域農業の維持・発展に向けた担い手の確保・育成支援事業	地域の農業・農地の維持、発展に向けた支援。	1,440	新規
漬物製造等事業継続支援事業補助金	漬物製造許可を取得し、漬物製造を行う生産者の施設整備に対する補助。	800	新規
農協共販青果物輸送費高騰対策支援事業	農協共販青果物の運賃高騰部分を緊急的に支援。	5,000	新規
省力化・生産性向上農業機械等物価高騰対策事業	農業用機械等の物価高騰に対する導入費の助成支援。	10,000	新規
二ホンザル対策モデル事業	二ホンザル対策委託料（専門的な知見を有した外部人材を活用し、地域ぐるみでの対策を実施する経費）。	1,749	新規
中小企業者等物価高騰対策支援事業	物価高騰の影響を受ける事業者の利益確保に向けた消費喚起活動、販路開拓、生産性向上、就業環境改善等の支援。	45,600	
観光施設整備事業	遊歩道木製階段改修工事（龍頭が滝）、受電設備及び電気計量器更新工事・特産品展示販売スペース空調設備更新工事（道の駅さくらの里きすき）、屋根改修工事（神楽の宿）。	72,283	
中心経営体農地集積促進事業	県営ほ場整備事業に係る地元負担の軽減を目的とした農地集積補助金（加茂町三代地区）。	74,317	新規
交付金活用通学路道路整備事業	市道を安全に通行できるよう通学路交通安全プログラム等に基づく歩道整備工事費（木次町・西日登上熊谷線落石対策工事、三刀屋町・元天神大別成木線歩道整備工事）。	44,100	
エリアプラットフォーム活動支援事業	官民連携により、空き家・空き店舗の利活用事業によるまちづくりを推進（木次本通り地区）。	5,000	新規
公立学校情報機器整備事業	「GIGA スクール構想」第2期。市内小中学校の学習用タブレット更新を島根県内で共同調達により実施。	58,799	新規
地域協働による特色ある高校づくり補助金	学校と多様な主体の協働による地域社会の創り手を育む取組、人材還流に寄与する取組への支援を通じて雲南ならではの特色ある学校づくりを推進するため、学校運営協議会に補助金を交付。	4,600	新規
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会事業	国民スポーツ大会開催県視察及び会議費、競技団体及び大会開催等に対する補助金等。	4,870	
菅谷たたら山内防災整備事業	防災施設（消火設備）の新設工事。	47,220	

令和7年度主な補正予算（一般会計）主要事業

（単位：千円）

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
令和7年度低所得世帯緊急支援給付金	エネルギー・食料品等の価格高騰に直面する低所得者支援として、住民税非課税世帯に対し1世帯当たり3万円給付。	113,750	113,750	新規
三刀屋保育所保育業務委託事業	入所児童数の増、特別保育等加算の増、公定価格改定に伴う増。	11,841	141,703	
加茂こども園保育業務委託事業	入所児童数の増、公定価格改定に伴う増。	12,902	190,412	
みなみかも保育園運営事業	入所児童数の増、公定価格改定に伴う増。	8,167	103,466	
公社賃貸住宅空家家賃負担金	公社定住促進賃貸住宅空家家賃負担金の精算見込による増。	2,584	11,755	
中小企業者等物価高騰対応支援事業	実績見込みによる補助金の増。	240	22,603	
除雪総務管理事業	除雪作業業務委託費の見込みによる増。	70,000	320,690	
現年農地災害復旧事業	令和7年災工事請負費精算見込みによる増。	6,000	31,000	
現年公共土木施設災害復旧事業	令和7年災工事請負費精算見込みによる増。	11,600	44,300	
交付金活用通学路道路整備事業	三刀屋町・元天神大別成木線道路整備工事の増。	300	20,300	
物価高対応子育て応援手当給付事業（令和8年1月臨時会分）	・給付額 一律 2万円 ・支給対象者 令和7年9月分の児童手当の支給対象事業（対象児童合計 4,900人想定）	101,500	101,500	

令和8年3月定例会

主な議案 審査結果

条 例	採択結果	採択状況
【条例制定】 ・道の駅さくらの里きすきの隣地に新たに緑地公園を整備することに伴い、条例を制定しました。	可決	全会一致
【条例改正】 ・新たな補助金を原子力防災基金へ繰り入れるため、条例を改正しました。 現在の基金の積立財源：島根県原子力防災安全等対策交付金 （島根県から核燃料税の2%分が交付されるもの） 追加される基金の積立財源：島根県原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業（安全確保）補助金 （島根県から5年間分で総額8,500万円交付されるもの）	可決	全会一致
【条例廃止】 次の施設が廃止となり、条例を廃止しました。 ・市民農園 ・海潮コミュニティセンター ・木次水泳プール（5か所） ・掛合野球場	可決	全会一致

一般事件	採択結果	採択状況
【市の鳥指定】 平成29年（2017年）から市内で営巣を始めて、令和8年（2026年）で10年連続の営巣となることを契機に、市の象徴（シンボル）として特別天然記念物である「コウノトリ」を市の鳥として明確に位置付けることで、市民の愛着と誇りを醸成するとともに、豊かな自然環境の保全とコウノトリと共生するまちづくりをさらに進めるため市の鳥に指定しました。	可決	全会一致
【公の施設の指定管理】 指定管理先が決まりました。 ・雲南市勤労青少年ホーム（1年間）：株式会社キラキラ雲南 ・神楽の宿（3年間）：海潮地区振興会 ・雲南市加茂健康福祉センター（1年間）：株式会社キラキラ雲南	可決	全会一致

一般事件	採択結果	採択状況
<p>【計画の策定】 過疎地域持続的発展計画が策定されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間：令和8年度から令和12年度までの5ヵ年計画 ・目的：過疎地域の自立を促進するための地方債（過疎対策事業債）を活用するための計画 <p>※過疎対策事業債（過疎債）は、元利償還金の70%が普通交付税に算入されるため、計画策定により有利な財源となります。</p>	可決	全会一致
<p>【請負契約】 加茂文化ホール（ラメール）大規模改修事業（舞台音響設備）の工事請負先が決まりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約の相手方：株式会社内村電機工務店 ・契約金額：227,150,000円 ・工事概要：大ホールの舞台音響設備の更新 	可決	全会一致
<p>【請負契約】 加茂文化ホール（ラメール）大規模改修事業（舞台照明設備）の工事請負先が決まりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約の相手方：丸茂電機株式会社広島営業所 ・契約金額：296,780,000円 ・工事概要：大ホールの舞台照明設備の更新 	可決	全会一致
諮 問	採択結果	採択状況
<p>【諮問議案】 新たに推薦されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員：堀江健次さん（吉田町）、堀江清二さん（吉田町） 	適任	全会一致
議員発議	採択結果	採択状況
雲南市議会議員政治倫理条例の制定について	可決	全会一致
中山間地域における農業への支援の充実を求める意見書	可決	全会一致



議会と語るう会についてのご案内

今回のテーマ：学校と体育館などの統廃合、集約について



開催日時	会場・議員	開催日時	会場・議員
5月8日(金) 19:00~20:30	吉田交流センター（吉田町） 矢壁正弘、 吾郷希穂、石原忍	5月12日(火) 19:00~20:30	飯石交流センター（三刀屋町） 原祐二、 原良太、多賀法華
5月8日(金) 19:00~20:30	松笠交流センター（掛合町） 梶谷佳平、 高橋美佐子、中村辰眞	5月13日(水) 10:00~11:30	春殖交流センター（大東町） 安田栄太、 竹部貴博、佐藤隆司
5月9日(土) 10:00~11:30	加茂交流センター（加茂町） 上代和美、 石原忍、中林孝	5月13日(水) 19:00~20:30	新市交流センター（木次町） 松林孝之、 福間守、廣野祐二

どの会場でもご参加自由です。皆さまの声をぜひお聞かせください。

委員会報告

総務常任委員会

委員長 梶谷 佳平

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された12件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市の鳥の指定について

コウノトリを雲南市の鳥に指定するものです。

問 市に特別天然記念物であるコウノトリが多数生息することを広くアピールする必要から、餌場の分布図作成や市のシンボルとして花は桜、木はイチヨウ、鳥はコウノトリと揃い、この3つを一体として周知すべきではないか。



コウノトリのロゴマーク

答 餌場については、専門家に調査等を依頼している。3つのシンボルについては、改めて様々な方法で周知したい。

(主な予算の審査状況)

・令和7年度雲南市一般会計補正予算(第10号)

民間賃貸住宅家賃助成事業補助金163万円の減額は実績見込によるものです。

問 対象要件は市内の民間賃貸住宅に新たに居住し、市内に少なくとも3年間定住する市内就業者または新婚者であるが、減額補正の要因は何か。

答 市内就業者数や新婚世帯数の減により、申請件数減少による減額である。

問 この事業の目的は、市内定住者を増やすことが主眼であるから、対象要件を市内就業者のみとするのではなく、市外就業者も対象とすべきではないか。

ないか。

答 本制度の趣旨は、移住定住の観点もあるが、市内就業者数を増やしたいという意図がある。市外就業者を対象とする要件変更は検討する。当制度の利用について改めて市内企業に周知したい。

・令和8年度雲南市一般会計予算

えすこなお金の流れづくり事業750万円は、地方創生を長期的・安定的に進めるため新たな財源を生み出し、行政予算

教育民生常任委員会

委員長 上代 和美

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された19件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市木次水泳プール条例を廃止する条例について

木次町5か所のプール

に頼らない仕組みを構築するものです。

問 委託先は何処を想定し、どのようなお金の流れになるのか。

答 委託候補者は、日本ファンドレイジング協会を想定し、遺贈寄付や社会投資などの新しいお金の流れや仕組みを調査研究し、地域コミュニティ組織等と協働で行政負担を下げながら、市民のチャレンジや共助を支える応援性資金の量・質を高めるモデル開発を行う。

の廃止により、条例を廃止するもので、施設用地を教育財産から普通財産にするものです。

問 廃止後の活用について検討されているのか。

答 木次プールと寺領プールは住宅用地としての活用で財産処分が見込まれる。斐伊プールは斐

伊交流センターとの一体的活用、西日登プールと温泉プールは公的施設等の他用途に活用することを検討している。



廃止される木次プール

(主な予算の審査状況)
・令和8年度雲南市一般会計予算

(1) 木次中学校建設事業5,300万2千円は校舎建設にあたり、必要な地質調査および設計業務委託をするものです。

問 候補地選定の方法は、整備検討委員会では、

答 ①木次の市街地から近接した場所
②市有地を活用し、大規

模な造成は行わない
③校舎・グラウンド・体育館の一体的な配置

以上の3条件を前提とし、その上で立地条件・災害リスク・コスト・日照・

景観などを総合的に勘案し、現地建て替えとした。

また、仮設校舎を建て

改築する計画は、解体を含め事業費が約7億円かかり、補助金も少なく、起債も困難であり実施は難しいと判断した。

最終案は、グラウンドを切り下げ、利便性を確保すること、周辺樹木を伐採し、眺望を確保することにより校舎をグラウンドに建設することとした。

予算執行にあたって、次の3点の意見を付しました。

①校舎建設場所変更についての住民説明を行うこと。

②グラウンド切り下げは必要性、規模を慎重に判断すること。

③眺望確保のための整備範囲の検討を行い、近隣住民への説明により、合意形成を諮ること。

(2) 高齢者補聴器購入費補助金100万円。

問 昨年より40万円減額

答 だが、実績と減額理由は、

7年度は予算額すべて執行予定(70人分)。2年度目は申請数が落ちて着くと想定し、50人分とした。

産業建設常任委員会

委員長 安田 栄太

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された18件の議案について審査し、全て可決す

べきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市道の駅さくららの里きすき緑地公園条例の

制定について

道の駅さくららの里きすきの隣地に新たに緑地公園を整備することに伴い、条例を制定するものです。
問 RVパークの貸し出し方法、運用はどうするのか。

答 ネットで予約し、RVパークを使われない方が駐車されないように看板を設置し、駐車区画にカラーコーンを置く等の対応をする。

※RVパークとは、日本RV協会が「快適に安心して車中泊ができる場所」を提供するために定めた条件を満たす車中泊施設。

(主な予算の審査状況)

・令和7年度雲南市一般会計補正予算(第10号)

木造住宅耐震化等促進事業補助金は、耐震性のない旧耐震の木造住宅の改修、建て替え、解体の経費の一部を助成するもので、380万円の減額をするものです。

土砂災害特別警戒区域内住宅補強支援事業補助

金は、土砂災害特別警戒区域内の住宅の土砂災害に対して安全な構造に補強するための設計、補強工事、解体工事を助成するもので、170万円の減額をするものです。

問 事業の執行がなかったのは何故か。

答 相談はあったが申請がなかった。1月の地震以降、防災意識の高まりがあり、今後は、家の耐震だけではなく、防災やリフォーム等と絡めて普及啓発したい。

・令和8年度雲南市一般会計予算

(1) プレミアムカタログ販路開拓等物価高騰対策支援事業3,395万9千円は、6千円相当の商品を4千円で購入できるプレミアム付きカタログを作成販売するものです。

問 7年度の販売は、お中元の時期に間に合わなかったが、今回の販売時期等は協議しているか。

答 掲載する商品は、新

年度すぐに事業者を募集し、早い段階で販売できるように協議したい。

(2) ニホンザル対策モデル事業174万9千円は、ニホンザル対策に専門人材を活用して被害を抑える事業です。

問 具体的に何をするか。

答 専門人材に委託して、寄せ付けない対策と、被害を受けている農地の対策を診断、指導する。



拡大するサル被害

会派代表質問



3月定例会

質問者の意思を尊重し、本人提出の原稿をほぼそのまま掲載しております。質問事項すべてを載せているものではありません。QRコードからインターネット配信が見られます。

「政友クラブ」

新年度予算に
込めた思いは



安田 栄太

問 「えすこな雲南市」を実現するための新年度当初予算に込めた思いと目玉となる事業は何か。

答 長引く物価高騰に速やかでの確な対応をすること。また、持続可能なまちづくりを進めるため、総合計画に基づく取り組みを着実に前に進めることとしている。物価高対策は、市民一人あたり8,000円の商品券を配布し、家計の負担軽減を図

る。また、給食費負担の軽減や生活困窮世帯へ給付金を支給し、必要な方々に確実に支援が届くよう取り組んで行く。



えすこ券取扱店での掲示ポスター

問 昨年、中心市街地にビジネスホテルがオープンしたが、本市の経済効果はどのように変化したか。

答 昨年8月にオープンしたため、統計的な影響の評価はまだできないが、周辺の飲食店等においては、宿泊客の利用で大変賑わっていると伺っている。昨年は高校総体やイベントの開催があり、市内での宿泊誘導をした。今後も賑わい創出に向けて、関係団体と連携して取り組む。

問 昨年末、吉田町内で自衛隊の弾薬庫と訓練場の誘致に向けた活動があると報じられた。このことについて、情報収集は行っているのか。

答 本市に正式な話がないう状況であるため、情報収集は行っていない。

問 市民の間では、推進と反対の双方の意見があり、誤情報等により混乱や分断を招きかねない。本市の立ち位置を整理し、市民に示す必要はないか。

答 この度の報道は、地域の将来を考える中で、一部の市民が考えを述べられたことが大きく報道

されたものと認識している。また、施設誘致に反対する皆様から、反対を表明して欲しいとの陳情をいただいた。この件は市として全く関わっていないが、現時点で市が誘致を考えたものではない。市民生活に影響を及ぼす可能性がある施設なので、賛否が分れるのは当然だが、双方の考えや議会のご意見を聞き十分な検討をした上で考えを示すことが適当と考えるため、現時点で市としての考えを示すのは困難だ。

問 財政健全化に向けた取り組みの公共施設等総合管理計画が改訂されるが、財政に配慮した点は何か。

答 人口減少等に伴う交付税の減少を見据えて、施設別の在り方や見直しの方向性を示し、総コストの抑制を図る方針を新たに盛り込んだ。また、本計画の実施方針を新たに策定し、各施設の種別ごとの対応方針を示した。

問 施設の保有量と配置の適正化を進めるにあたり、基本的な考え方は。

答 利用頻度の減少や、長期の利用が困難な施設は、原則として廃止、売却、譲渡し、保有量の適正化を図る。廃止施設等の除却は、周辺の安全面や環境面を考慮し、除却を原則とするが、財政計画との整合性を図りつつ、有利な財源を活用し、将来負担の平準化を図る。



休廃止を検討する勤労青少年ホーム

一般質問



3月定例会

質問者の意思を尊重し、本人提出の原稿をほぼそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。QRコードからインターネット配信が見られます。

学校給食費負担の矛盾を問う

学校給食費負担の矛盾を問う



石原 忍

問 小学校の給食費の保護者負担について、令和8年度は実質0円であるが、令和9年度からは再び負担が市から保護者になる。なぜこのような対応をするのか理解できないが見解を問う。

答 本来食材費は保護者負担が基本とされている。また、今回の国の制度においても、国の交付金の基準額を超える部分は保護者から徴収は可能であるとされており、持続可

能な給食運営を行うためである。

問 中学校は、令和7年度と令和8年度の保護者負担は同額であるが、令和9年度からは市の負担は一切なくなり、全額保護者負担となる。これにより、一食当たりの保護者負担は122円の増額となる。これは市の補助を廃止し、保護者に大きな負担を強いる計画となっているが見解を問う。

答 令和8年度は激変緩和措置を講じようと考えているが、令和9年度からは改定後の額でお願いする予定としている。具体的な取扱いについては今後の経済状況等を踏まえながら検討する。

顕彰に値する二人の加藤先生



中林 孝

問 大正時代、斐伊高等小学校に「大原の三加藤」と呼ばれた三人の秀才がいた。一人は、加藤歎一郎先生。初代日登中学校の校長で「生きるための生きた産業教育」をモットーに生徒の指導にあたられた。木次乳業創業者の故佐藤忠吉氏（名誉市民）にも大きな影響を与えた。「人が朽ちても後に残る人々の魂に火を灯していたなら、そのひとこそが真の教師」との言葉がある。まさに「魂の点火者」と呼ぶに相応しい。

もう一人が、加藤義成先生。「出雲風土記」の大家。約50年前、京大名誉教授だった故上田正明氏は加藤義成先生の功績

を称え文化勲章に値すると出雲市内での講演で述べられた。文化人で島根新聞（現山陰中央新報）社長だった木幡吹月氏も「出雲風土記参究」は文化勲章に値すると自著「鬼の念仏」に記された。両先生とも苦学の末、多くの業績を残された。顕彰に値すると考えるがその考えはないか。

答 旧町時代に一旦整理されており、改めて考える必要はない。

指定緊急避難所は84か所あり、ホームページで公開している。基本的に、風水害と地震の避難所は全て重複していて、それぞれに対する適応性について明記している。

問 全国的に大規模な家屋火災、林野火災が多発している。消防庁では林野火災の防止のため「林野火災警報」の基準を定め林野火災防止を図るとされた。本市として市民に対し、啓発、告知が必要では。

答 雲南消防本部から発令の連絡を受け、市からも音声告知放送、防災無線により周知を行う予定としている。

問 どの災害も事前の小さな芽を摘み取れば大きな災害に繋がらないと考える。その対応が一番重要と思うが市長の見解は。

答 大きな災害は、その前に必ず小さな兆候がある。早期に把握し、確実に摘み取っていくことが重要と認識している。

ついでにも起き得る災害対応



矢壁 正弘

問 風水害や原発事故に関する避難については細かく指定してあるが、地震災害時についての避難所等の取り決めはあるか。

答 本市の指定避難所、

一般質問

熊について
まずは現状把握を



原 良太

問 雲南圏域におけるツキノワグマの個体数は増えているのか。それとも個体数は変わらないが熊の出没する生息区域が広がっているのか。

答 雲南圏域のみの調査はなく、島根・広島・山口3県合同の推定生息調査によると、平成10～11年調査の中央値は480頭、令和2年が1,307頭で、数自体は増えている。また、恒常的な生息区域は、平成10年は、5千平方kmの範囲であったが令和2年では8千2百平方kmとなっており、生息区域も広がっている。

問 個体数が増えすぎたとして個体数管理はできるのか。

答 ツキノワグマの適正な個体数については国・県共に明確な基準は示されておらず、生息数が増えたことが課題と言えるかは分からない。熊は国により狩猟が禁止され、県も保護の観点から、地域が個体数の削減を要望しても人身危害の危険度が低いと判断された場合は許可が難しい。現状では出会わない対策、人里に寄せつけない対策をお願いしたい。

保育・教育施設の
あり方は



佐藤 隆司

問 「市子育て支援施設等整備保全計画」の、大規模改造と長寿命化改修施設の考え方は。

答 多くの施設が建替え、更新の時期を迎え、躯体



斐伊保育所(左)と斐伊こども園(右)

の耐用年数まで使い続けるために長寿命化に取り組む、長寿命化にふさわしくないものは大規模改造をすることとしている。

問 5カ年実施計画では、大規模改造4、長寿命化改修4施設の改造・改修の必要な施設が計画に示されていないが何故か。

答 その間の改造・改修時期を設定しているが、現状では計画どおりの遂行に至っていない。要因は、空調設備の故障が多発し、その対応が急務で優先的に進めている。今後子育て支援施設のあり方、計画の見直しを行う。

問 近隣に子育て施設のある斐伊こども園(市直営)を斐伊保育所(民間委託)へ統合する可能性への見解は。

答 施設のあり方の検討は、民間の施設の運営者等、公と私の役割分担とその在り方を議論することが必要であり、そうした議論を経ながら一定の方向性を出していく。

雲南病院での
外国人雇用



吾郷 希穂

問 3月1日付で外国人看護補助3名が雲南病院で雇用された。経緯は。

答 求人募集していたが応募がなく、人材不足のため国の特定技能制度を活用し、同制度1号(5年間まで就労可能、家族帯同不可)を3名採用し

た。

問 外国人雇用にかかる初期費用は紹介手数料、入職前支援料、入国時研修費用、移動費、渡航費、新生活初期道具費等、約100万円かかる計算である。看護補助の求人票には単年度雇用の会計年度職員で賃金月額20万4,200円とある。会計年度職員の賃金が安いのではないか。

答 昇給、諸手当が有り、決して安いとは思っていない。

問 市職員の外国人採用についての考えは。

答 一般職員、一般事務職は採用試験の受験資格に日本国籍を有する者、ということになっている。

他 愛の減塩プロジェクトについての質問。

木次中学校建て替えと公共施設、学校の今後について質問。

数値による
計画遂行が必要



廣野 祐二



問 公共施設等総合管理計画での行政財産延べ床面積の在り方について、数値目標が必要。また、現状復旧の修繕については、公共事業としてではなく、修繕事業として、迅速で、安価な工事をすべきだと思いが見解は。

答 公共施設を縮減する必要性はあるが、数値目標は、適当でないと判断しており、今後も施設ごとの方向性を議論していく。修繕については、公共施設等小規模修繕事業の限度額の調査、小規模修繕事業者が発注できる仕組みを検討している。

問 教育環境から住所移転する例があり、このことが、人口減少のきつ

けになっていないか。

答 住所移転の目的を明確に把握できていないが、教育環境による住所移転は少ないと認識している。

問 DX化推進において、高齢化社会での対応と、スマホ等の電波が届きにくい地域への対策は。

答 高齢者等の対応は、丁寧に行う。電波不感地域への解消に向けて現在も取り組みを行っており、事業者と話し合いを進める。

スポーツで
地域に新たな風を



竹部 貴博



問 本市は過去にくにびき国体やシトリンしまねの誘致などスポーツを通じた「まちおこし」をしてきた実績がある。更なるスポーツ振興を推進し、今後も選手や指導者が、

本市で競技を続けながら長く暮らせるような雇用手支援の在り方は。

答 企業関係者からの理解、支援が不可欠。雇用手支援は、関係機関と連携し、安心して競技と仕事が両立できるよう積極的な検討をしていく。



シトリンしまねとの交流

問 スポーツ人材の受入れは、国の制度を活用し、財源を確保すべきだが、課題や問題点は。

答 地域おこし協力隊では、公益性、3年任期終了後の収入確保、定住支援が課題で、特定地域づくり事業協同組合では、

企業ニーズとのマッチングが課題である。関係者との意見交換や先進事例の研究をし、機運醸成を図りたい。

問 先述の課題解決に向けた先進事例地域での視察等を行い、十分に実現可能でメリットが大きいと考えるが見解は。

答 具体的に調査、研究を進めたい。

弾薬誘致に
反対の意思表明を



上代 和美



問 昨年末に雲南地区防衛協力会の一部会員による、吉田町への自衛隊弾薬庫、訓練場を誘致する動きがあると報道された。この動きは、防衛省が2022年12月に策定した安保三文書に基づいて、弾薬庫を2027年

度までに70棟、2032年度までにさらに60棟の計130棟増設を行う方針から、日本全土に配置する流れの中での動きに他ならない。

2月16日に、誘致に反対している市民団体から、市長に反対の意思を表明してほしいと求められている。

地域に対立と分断が持ち込まれることが懸念される。仮に有事となれば、弾薬庫は標的となるリスクがある。「平和を」の都市宣言をしている自治体の首長として、当該施設を受け入れることに反対の意思を表明すべきではないか。

答 雲南市が「平和を」の都市宣言を行い、恒久平和を目指すという考え方について、私としては一ミリも変化はない。双方の意見や市議会の意見を聞き、考えを示す。

全く関わりなく
検討していない



福間 守

問 自衛隊の火薬庫、訓練場誘致の動きが昨年末に報じられた。地域の将来像や安心感に大きな影響を与える問題で、地域の分断を生む可能性もある。誘致の可能性について検討しているか。

答 市として全く関わっておらず、市が誘致を考えたものでもない。一部の市民が考えを述べたもので地域での議論の一つ。現状では施設誘致の可能性について検討している事実はない。

問 市長の2期目の任期も残り3年。財政の立て直しにどのように取り組む、何を成し遂げるのか。

答 第3次総合計画の実現を支える経営基盤を構築していくためには、安

定した財政運営は必須で、行財政改革の取り組みはなくてはならない。このたび策定した行財政改革取組方針に基づき、事務事業及び補助金の見直し、ふるさと納税の推進や受益者負担の適正化、行政DXの推進、定員管理計画の見直し、総合センター業務の本庁集約など様々な取り組みを行っていく。

定した財政運営は必須で、行財政改革の取り組みはなくてはならない。このたび策定した行財政改革取組方針に基づき、事務事業及び補助金の見直し、ふるさと納税の推進や受益者負担の適正化、行政DXの推進、定員管理計画の見直し、総合センター業務の本庁集約など様々な取り組みを行っていく。

出雲神楽の魅力をもっと発信

もっと発信



多賀 法華

問 石見神楽と出雲神楽の違いは。

答 石見神楽は面白さを競い合い娯楽化したもので、出雲神楽は伝統的姿を残しているのが特色である。

問 雲南市の出雲神楽の

ホームページの更新をすべきでは。

答 更新について受託者と協議中である。

問 古代鉄歌謡館の役割、期待、市の役割は。

答 神楽の実演等、地域文化の向上を図る役割がある。将来の利活用や施設の在り方は、地域の方々の意見を踏まえ、市全体の効率かつ効果的な文化振興が図られるよう方向性を検討する。



満員の古代鉄歌謡館

問 空調の修理は。

答 現在、工夫し施設の運用に努めている。状況

を調査し対応を検討する。

問 2階の貴重な資料映像はどうするか。

答 レーザーディスクの複製は、視聴に耐え得る画質が確保できないため研究したい。

問 神楽フェスティバル20周年で神話の流れに沿って物語風を開催しては。

答 実現に向けて検討をすすめる。

地震時の

市民の安心安全



梶谷 佳平

問 国は、南海トラフ地震発生確率を令和7年9月に今後30年以内に60〜90%程度以上と発表。耐震化率は、全国90%、島根県81%、雲南市66% (R5)。耐震化率の進捗状況と耐震化率が低い理

由は。
答 住宅耐震化率は、令和6年度末66.1%。支援策は、木造住宅の耐震診断や耐震改修費の助成、地震防災に係る出前講座や県関係団体と耐震化の普及啓発に取り組んでいる。

耐震化率が向上しない理由は、耐震リフォーム効果が「奇麗・便利になった」と感じにくく、当地方特有で住宅が大きく、耐震改修費用が高額になることが原因となっている。

問 二次被害を減らす支援策が必要。住宅の一部耐震化例は、耐震壁の設置や増設、基礎の補強、屋根の軽量化、接合部の金物補強、耐震シエルトや防災ベッドの設置、感震ブレーカーの設置、蛇口や水道管の耐震化、貯水槽の固定、水道用緊急遮断弁の設置があるが見解は。

答 住宅の耐震化、家具の固定化は重要である。

スポーツに関わる環境づくりを



中村 辰眞

問 雲南市では、スポーツイベントが他市に比べ、少ないという声を聴く。スポーツ振興といえ、参加を主と考えがちであるが、周りから支えることで、盛り上がっていきたいという考え方もある。参加・応援、またユニバーサルスポーツ等にとられず、スポーツイベント全般として企画ができないか見解を伺う。

答 スポーツ振興はする、見る、支える多様な関わりで、スポーツ文化をまちづくりを生かすものである。来年度はする人だけでなく、見る人、あるいは支える人へも参加をさせていただけるような大会に取り組んでいきたいと考えている。今後も障

がいの有無に関わらないことはもとより、スポーツに触れたことのない方が参加いただけるイベント機会を作ること、市民にスポーツを通じて心の豊かさを実感できるよう取り組みを進める。

問 緊急銃猟のための練習する場所が市内にあるのか伺う。

答 県内に射撃場が4カ所あり、市内では散弾銃用射撃場が大東町にある。

※ポッチャとは、ジャックボール（的球）と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツ。



ポッチャを楽しむ市民

議 員 発 議

・「雲南市議会議員政治倫理条例の制定」について

この条例は、雲南市議会基本条例の理念に則り、議員が市民全体の代表として自律的にその人格と倫理の向上に努めるとともに、自己の地位による影響力を不正に行行使し、自己または特定の者の利益を得ることのないよう必要な事項を定めることにより、議員の政治倫理の確立及び向上を図り、市民に信頼される公正で民主的な市政の維持及び発展に寄与することを目的に制定するものです。

・中山間地における農業への支援の充実を求める意見書（抄）

本市議会は、中山間地域農業を再生し、食料安全保障の確立と中山間地域の活性化のために、下記の事項を実現するよう強く要望する。

記

1. 条件不利の中山間地域における農業の生産コスト高分への新たな支援策を創設すること。
2. 条件不利地の実態に即した土地改良事業の採択基準である面積条件などの緩和を行うこと。
3. 担い手支援事業への集積要件等の更なる要件緩和を行うこと。
4. 経営の規模や形態にかかわらず幅広い人材の確保・育成を進めるなど人材育成確保対策の充実、強化を図ること。
5. 多面的機能支払交付金において、対象農用地面積が減少した場合、真に止むを得ないと認められれば返還を要しないこと。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 農林水産大臣

次期一般廃棄物処理施設整備調査特別委員会

委員長 佐藤 隆 司

昨年12月定例会において設置された「次期一般廃棄物処理施設整備調査特別委員会」の第一回目の委員会を2月26日に開催しました。

これまでの経緯

雲南市・飯南町事務組合で取り組んでいるごみ処理施設は、いずれも建設されてから相当の年月が経過していることから

平成30年に雲南市一般廃棄物処理基本計画が策定されました。

また、奥出雲町でも同様の課題があり、検討・協議した結果、共同で事業を進めることの有効性が確認され、令和5年7月に雲南市、奥出雲町、飯南町の一市二町により次期一般廃棄物処理施設整備に係る基本合意書を締結、共同事業が始まり

ました。

当初案では一市二町が3種類の処理施設を(A・B・C)一か所に建設(三位一体施設として整備)、令和14年度の稼働開始を目指し、令和5年4月、市役所内に新ごみ処理施設整備準備室を設置、一市二町の職員が常駐して準備を進めてきました。

施設建設費は当初、約122億円と想定されていましたが、近年の物価高騰を受け検証し直したところ180億円以上と試算されました。そのため、昨年、建設に拘らず民間委託も含め、様々な視点から再検討することを教育民生常任委員会で認めてきました。

施設の検討状況

今年になり、本特別委

員会で本件調査を引き継ぎました。施設について、

①行政が建設②民間に全面委託③民間に部分委託、各パターンのいずれをとつても概ね220億円(230億円前後を要する)の内容であり、委員会としては今後、建設時期も含め様々なパターンの分析、民間委託する場合には事業継続性など多面的に検討していく予定です。

一般廃棄物処理施設とは

- ①可燃ごみ処理施設
燃やせるごみの焼却施設、RDF(固形燃料)化
- ②不燃ごみ処理施設
燃やせないごみを分別する施設
- ③最終処分場
処理できない残渣を埋設する施設

令和7年度 雲南市議会議員ハラスメント防止研修会

総務常任委員長 梶谷 佳平

令和8年1月23日に、(公財)21世紀職業財団ハラスメント防止コンサルタントである越野由美子さんを講師にむかえ、ハラスメント防止研修会を開催しました。

研修では、ハラスメントに対する正しい認識・知識をもち、議員という立場(力の構造・リスク)に気付き、自身の言動に注意が必要で、誰もがハラスメントを「しない・させない・見逃さない・許さない」という意識を高めることが必要です。またハラスメントは、相手の受け取り方が重要なため、他人の言動にも気を配り、ハラスメントの背景となり得る日常を日々見直す習慣が大切と感じました。



議長 松林孝之

本年度は「熊被害」について研修をしました。

ツキノワグマは増加傾向にあり、個体群管理するために平成14年に島根・広島・山口で「特定鳥獣保護管理計画」が策定されました。

5期目の計画は「保護から管理」として、人とクマとの「棲み分けゾーニング管理」を実施することを提唱しています。

令和7年の北海道のヒゲマ、東北地方のツキノワグマの目撃情報は例年の5〜6倍でその要因は次の通りです。

- ①北海道・東北地域で餌となる「ドングリ（ブナ等）」が大凶作
- ②生息数の増、生息域の拡大
- ③人の生活圏域に依存する個体の出現

一方、島根県内の目撃情報は令和6年に対し半減しており、要因のひとつは「ドングリの豊作」であったようです。

県内のツキノワグマの目撃件

数は出産後の母熊と子熊の活動が活発になる6月と、子熊の親離れと冬眠前の10〜12月が多くなっています。

餌となるドングリの豊凶はもとより、人里近くに放置された野菜や果樹等の有無が大きく影響します。山間部の空き家にあるカキやクリの木はクマを誘引するきっかけとなってしまう。守るべき場所を集落として、地域として環境整備を実施し、出没抑制に取り組むことが重要と学びました。



飯南町役場での研修会

請願・陳情の提出について

6月定例会の請願・陳情は6月11日（木）17時までに、議会事務局へ提出してください。
上記の受付期限を過ぎた請願・陳情は、9月定例会での審査となります。

編集後記

「島根かみあり国スポ・全スポ」の開催に向け準備が進められています。44年前、昭和57年に開催された「くにびき国体」での大会運営や競技強化の活動を懐かしく思い出します。

国内最大級のスポーツの祭典は、競技力の向上が期待されます。一方で楽しむ・遊ぶといった多様なスポーツ体験や大会を通じた交流の意味合いを重視するようになったようです。

4年後には「自分を超える、神話をつくれ」をスローガンにソフトボール・ローイング（ボート）・レスリングが本市で開催される予定です。大東高校レスリング部、成年女子ソフトボールチーム（シトリンしまね）による競技強化とともに、誰もが「する」「みる」「やる」ことができるスポーツ機会の充実と環境づくりが求められます。

原祐二

【お詫びと訂正】

広報紙「市議会だより 雲南 80号」の掲載内容の一部に誤りがありました。次のとおり訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

- 訂正箇所 10ページ3段目の写真の説明
- 訂正内容
(誤) 株式会社CNCが行う保育留学
(正) 株式会社CNCが行う里山留学

議会広報広聴 特別委員会

	委員長	多賀 法華
	副委員長	原 良太
	委員	吾郷 希穂
		石原 忍
		廣野 祐二
		渡辺 重光
		佐藤 隆司
原 祐二		